



パテロ前書

第一章

一 イエスキリストの使徒パテロ書をホント、ガラテヤカ

ニ パドキヤ、アジヤ、ビテニヤに散りて宿れる者、即ち父なる

神の預じめ知り給ふ所に随ひて御霊の潔により柔順から

んため、イエスキリストの血の濃を受けんために選ばれた

る者に贈る。預くは恩恵と平安と汝らに増さんことを

三 讃むべきかな。我らの主イエスキリストの父なる神を

の大なる憐憫に随ひ、イエスキリストの死人の中より甦り

給へることに由り、我らを新に生れしめて生ける望を懐か

四 せ、汝らの為に天に蓄へある朽ちず汚れず萎まざる嗣業

聖書改訂原稿用紙

五 を継しめ給へり。汝らは終の時、に顕れんとて備りたる救

六 を得んために、信仰によりて神の力に護らるるなり。此の

故に汝ら今暫しの程さまふの試煉によりて憂へざるを

七 得ずとも、尚ほ大に喜べり。汝らの信仰の試験は壞る金の

火にためさるるより、貴くしてイエスキリストの現れ給

八 ふとき、譽と光采と尊貴とを得べきなり。汝らイエスを見

しことなれど、之を愛し、今見ざれども、之を信じて言ひがた

九 く、かつ光采ある喜悦をもて喜ぶ。これ信仰の極、即ち靈魂

十 の救を受くるに因り。汝らの受くべき恩恵を預言者たち

十一 は、この救につきてつぶさに尋ね查べたり。即ち彼らは已

三  
 が中に在すキリストの靈のキリストの受くべき苦難およ  
 び其の後の栄光を預め証して何時のころ如何なる時を示  
 し給ひしかを查べたり。彼等は其の勤むるところ已のた  
 めにあらず汝等のためなり事を黙示によりて知れり。即ち  
 天より遣され給へる聖靈によりて福音を宣ぶる者どもの  
 汝らに傳へたる所にして、御使たちも之を懇ろに視んと欲  
 するあり。

三  
 この故に汝ら心の腰に帯し慎みてイエスキリストの  
 現れ給ふ時に與へられんとする恩恵を疑はずして望め。  
 西 従順ある子等の如くして前の無知なりし時の怒に倣はず

聖書改譯原稿用紙

五 汝らを召し給ひし聖者に倣ひて自ら凡ての行為に潔か  
 六 録して、われ聖なれば汝らも聖なるべしとあればなり。  
 七 また偏ることなく各人の業に随ひて審き給ふ者を父と  
 八 呼ばば畏をもて世に萬る時を過せ。汝らが先祖等より傳  
 九 はりたる虚しき行状より贖はれしは銀や金のごとき朽つ  
 十 る物に由るにあらず。玷なく汚點なき小羊の如きキリス  
 十一 トの貴き血に由ることを知ればなり。彼は世の創の前よ  
 十二 り預じめ知られたまひしが、この末の世に現れ給へり。是  
 十三 彼を死人の中より甦へらせて之に栄光を與へ給ひし神を  
 十四 彼によりて信ずる汝の爲あり、此の故に汝らの信仰と望と

三文字

三は神かみに由よれり。汝あんぢら真理しんりに従したがふによりて靈魂たましひを潔きよめ偽いつはりな

三は兄弟あにを愛あいするに至いたりたれば心こころより熱あつく相愛あひあいせよ。汝あんぢら

は朽くつる種たねに由よらで朽くつる事ことなき種たね、即すまはち神かみの活いける限かぎり

あく保たもつ活いける言ことばに由よりて新あらたに生うまれたればなり。

四 可いれ人ひとは吾みな草くさのごとく、

その光榮せかえは吾みな草くさの花はなの如ごとし、

草くさは枯かれ

花はなは落おつ。

されど主しゆの御言みことばは永遠とこしほに保たもつなり

汝あんぢらに宣傳のべたせる福音あぐいんの言ことばは即すまはちこれなり。

花は朽つて枯れ、  
下ニツキケサレド  
ノ句ヲ草は枯れ  
ノ次ニツクリヤナル

聖書改譯原稿用紙

第二章

誦訓

二 されば凡ての悪意、凡ての詭計、偽善、嫉妬および凡ての  
 三 誰誦を棄てて、今生れし嬰兒のごとく、靈の眞の乳を慕へ  
 四 之に由り育ちて救に至らん為あり。なんぢら既に主の仁  
 五 慈ある事を味び知りたらんには、然かすべきなり。主は人  
 六 に棄てられ給へど、神に選ばれたる貴き活ける石あり。汝  
 七 ら彼にきたり活ける石のごとく建られて靈の家とされこ  
 八 礼深き祭司となれ、是イエスキリストに由りて神に喜ばる  
 九 る靈の犠牲を献げん為なり。聖書に  
 十 「視よ、選ばれたる貴き隅の首石を我シオンに置く。」

聖書改譯原稿用紙

之に依り頼む者は辱しめられど  
 七 とあるなり。されば信ずる汝らには、尊きふれど、信せぬ者  
 八 には「家造らの棄てたる石は、隅の首石とされるにて、  
 九 石礙ぐる岩とあるなり。彼らは服はぬに因りて、御言に躓  
 十 り。これは斯く定められたるなり。されど汝らは選ばれた  
 十一 る族王なる祭司、潔き國人、神に属ける民なり、是なんぢら  
 十二 を暗黒より召して己の妙なる光に入れ給ひし者の譽を顕さ  
 十三 せん為なり。汝ら前には民にあらざりしが、今は神の民な  
 十四 り、前には憐憫を蒙らざりしが、今は憐憫を蒙れり。  
 十五 愛する者よ、なんぢらに勸む、汝らは旅人また宿れる者を

三れば、靈魂に逆ひて戦ふ肉の慾を避け、異邦人の中いはいじんうちにあり  
 て行状を羨しくせよ。是こゝふんぢらをを誘こゝりて惡を行ふ者と云  
 へる人々の汝らの善き行為を見て反つて眷顧かへりみの日に神を  
 三崇めん為なり。汝ら主のためしゆに凡て人の立てたる制度せいどに  
 二服へ、或は上に在る王、或は惡を行ふ者を罰し、善を行ふ  
 五者を賞せん為に王より遣されたる司に服へ、善を行ひて  
 二愚なる人の無知の言を止むるは、神の御旨みこゝちなればなり。汝  
 一ら自由なる者の如くすとも、その自由をして惡意あくいの覆とな  
 せず、神の僕の如くせよ。汝ら凡ての人を敬ひ、兄弟を愛し、  
 神を畏れ、王を尊べ。

聖書改譯原稿用紙

六 僕たる者よ、大なる畏をもつて主人しゆじんに服へ、當に善きも  
 九の寛容なる者ものにのみならず、情なき者ものにも然かせよ。人も  
 一愛くべからざる苦難を受け、神を認むるに因りて憂うれひに堪  
 手へふば、これ譽むべきなり。もし罪を犯して掙うたる、時之  
 を忍ぶとも何の功かある。然れど、若し善を行ひて尚苦しめ  
 三らる、時之を忍ばば、これ神の譽め給ふ所ところあり。汝らは之  
 三がために召されたり、キリストも汝らの為に苦難を受け、汝  
 三らを其足跡そのあしあとに隨はしめんとて、模範もはんを遺し給へるあり。彼  
 三は罪を犯さず、其の口に虚偽なく、又のまたしられて罵ののしらず、  
 二苦しめられて、費かさず、正しく審き給ふ者ものに己を委ね、木

562

また罵らる



の上うへに懸かりて自みづから我われらの罪つみを己おのが身みに負おひ給たまへり。これ我われ  
 らが罪つみに就つきて死しに義いに就つきて生いきん為たなり。汝あんぢらは彼かれの  
 五傷きずによりて瘡いやされたり。汝あんぢら前まへには羊ひつしの如ごとく迷まよひたりし  
 が今いまは汝あんぢらの靈魂たましひの牧者ぼくしやたり。監かん督とくに歸かへりたり。汝あんぢら前まへには羊ひつしの

聖書改譯原稿用紙

第三章

一 妻たる者よ、汝らもその夫に服へたとひ御言に隨はぬ  
 二 夫ありとも、汝らの潔くかつ恭しき行状を見て言によらず  
 三 妻の行状によりて救に入らん為なり。汝らは髪を辨み金  
 四 を掛け、衣服を装ふごとき表面のものを飾とせず、心の中  
 の隠れたる人、即ち柔和にして恬静なる靈の朽ちぬ物を飾  
 五 とすべし、是こそは神の御前にて價貴きものなれ。昔神に  
 六 望を置きたる潔き女等も、斯の如くその夫に服ひて己を飾  
 七 りたり。即ちサラガアブラハムを主と呼びて之に服ひし  
 八 如し。汝等も善を行ひて何事にも戦き懼れずば、サラの子た

聖書改譯原稿用紙

るなり。

七 夫たる者よ、汝らその妻を己より弱き器の如く知識に  
 八 したがひて、偕に棲み、生命の恩恵を共に嗣ぐ者として之を  
 九 貴ぶ。是なんぢらの妨に妨害なからん為なり。  
 十 終に言ふ、汝らみふ心を同らし互に思ひ遣り、兄弟を愛  
 十一 し、憐み、謙遜り、惡をもて惡に、謗をもて謗に報ゆることな  
 十二 く、反つて之を祝福せよ。汝らの召されたるは祝福を嗣がん  
 十三 為なればなり。そは  
 十四 三文字「生命を愛し、  
 十五 善き日を送らん」とする者は、舌を抑へて惡を避け、

土

口唇を抑へて虚偽を語らず、悪より遠ざかりて善を

行ひ、

平和を求めて之を追ふべし。

それ主の目は義人の上に止まり、

その耳は彼らの祈に傾く、

されど主の御顔は悪を行ふ者に向ふ

汝等もし善に熱心ならば誰か汝らを害はん。 假令義

西三

のため苦しめらるる事ありとも、汝ら幸福なり。彼らの

五

威嚇を懼るな。心を騒がすな。心の中にキリストを主と

六

崇めよ。又なんぢらの衣にある望の理由を問ふ人には、柔

聖書改譯原稿用紙

和と畏懼とを以て常に辯明すべき準備をなしかつ善き良

心を保て。これ汝らのキリストに在りて行ふ善き行状を罵

七

る者のその誇るごとくに就きて自ら愧ぢん為なり。もし善

を行ひて苦難を受くること神の御旨ならば、悪を行ひて苦

八

難を受くるに勝るなり。キリストもなんぢらをして神に近づ

かせんとて正しき者、正しからぬ者に代りて死に給へり。彼

九

は肉體にて殺され、靈にて生かされ給へるなり。また靈に

て往き、獄にある靈に宣傳へ給へり。これらの靈は昔ノア

の時代に方舟の備へらるる間、寛容をして神の待ち給へる

とき、服はざりし者どもなり。其の方舟に入り、水を経て救は

異本「若難を受  
け給へり」とあり

謙



今なんぢらいまいまを

別所川内氏等  
を監督す回

三  
れし者はもの僅あづかにしてたはちじんハ人なりきなりき。その水みづに象かたどれるバプ

テスマは肉にく及の汚穢けがれを除のぞくにあらず善よき良心りやしんの神かみに對たいする

要求もとめにしてイエスキリストの復わか活わたりによりて今いまわれらを救すく

ふ。彼かれは天てんに昇のぼりて神かみの右みぎに在います御使みつかひたち及およびもろろ

の能ちから力ちからとは彼かれに服したがふなり。

聖書改譯原稿用紙